

# 関常幸 議会報告

第55号  
2021.4

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐 2015 番地  
TEL 025-777-2245



## 「コロナ」がまんた我慢！ もう少しの辛抱！

コロナは大阪、東京の大都市を直撃し、3回目の「緊急事態宣言」発令。新潟県も感染者数が急拡大、新潟市は飲食店21時までの「短縮要請」が始まった。

コロナウイルス、日本の感染者数は54万人（世界1億4千万人）米国、欧州各国と比較すると少なく、コロナ対策の評価は高い。しかし、わたしたちも国民にはそう映らない……。確かに政府の「感染を抑える」「経済を回す」には理解するし、本当にそうであると思い国民は協力してきた。

昨年3月から、孫に会うための上京を控え、法事も身内だけ、仲間での2泊3日の旅行は中止。うちの飲み会も遠慮して…いつまで続くのか！

4月25日から赤石地区で、5月2日は浦佐地区、5月9日は上田地区の高齢者からワクチン接種が始まる。このワクチン接種が全国一斉に始まったことで、コロナの収束が読み取れるようになった。

そして、菅総理の4月18日の訪米でファイザー社のワクチン、9月に全国民分を確保の報に、今年12月までの辛抱だなどと思い、明るい先が見えた。

昨年、南魚沼市は二人副市長制をとり、防衛省衛生監・厚労省健康局長経歴の外山副市長が「ワクチン接種」の陣頭指揮にあたっており、その対応は県内でトップだ。国、県のワクチン配布については不明や疑問もあるが、市を信頼し、心配しないでワクチン接種を待とう。

政府は緊急事態宣言・まん延防止等、感染者数を抑え込むために、対策を打ち出すが「おおかみ少年」のようだ。国民は「宣言慣れ」や「自粛疲れ」「三密にも慣れ」マスクはするが実行が上がらない……。

ワクチン接種が始まった今、政府はワクチンの確実な確保を。そして、ワクチン接種は自治体の責任で万全を期す。

世界に有する日本が、ワクチンを自前で作れない国だったとはショックだった。これからもコロナのように「感染症」はいつどこで発現するかわからない。ワクチンを自前・日本国内で作れるようにすることが、国と製薬会社の責務だ。

## 3月定例議会 (3月1日～19日)



3月議会は「予算議会」とも言われ、会期も19日間と長い。一般質問は8～9日で、17人が市長と相対する。6名がコロナ関係の質問。議会最終日、3月末で退職する職員を代表し、部長5名と議会事務局長が登壇しあいさつする。本当にご苦労様でした。

### 市長 所信表明



- ・ 2月1日にワクチン接種準備室設置
- ・ 医療対策推進本部立ち上げ、医療のまちづくりを  
～大和病院改築、市民病院経営改善、医師確保
- ・ 介護人材確保緊急5か年事業  
(研修会、現役復帰、ケアマネへの支援等)
- ・ 医療費助成高校生まで引き上げ
- ・ 出産応援緊急5か年事業  
(1子12万円、2子15万円、3子20万円)
- ・ 小中児童生徒一人に一台タブレットの整備
- ・ 小中学校トイレ洋式化(六日町中学校から)
- ・ 新ごみ処理施設整備は、1日でも早く新たな候補地の選定
- ・ 水道料金については、口径別料金体系に
- ・ 脱炭素社会の実現を目指し、新エネルギー(雪)の検討

## ★3月17日 令和3年度一般会計予算可決

305億6千万(昨年より3億3千万円増)の予算審議が、3月12日、15日、16日、17日と4日間行われる。

収入では、コロナ禍での税収不足。支出では1款の議会費、2款の総務費、3款民生費…14款の予備費まで、多くの議員から市長や執行部に質問が発せられ、時には執行部と激しくやりあうことも度々。特に、雪資源活用事業・40,850千円では厳しく執行部に迫る場面があった。

4日間の審議が終わり、市民クラブ4名から修正動議が提出される。このコロナ禍、雪事業でなくその予算をコロナ対応に回すべく等の理由で、雪資源活用事業40,850千円を削除するものだ。

賛成、反対の討論の後、修正動議への賛成者は4人で修正動議は否決。次に原案に採決が行われ、反対者は6人(市民クラブ4人、共産党2人)、賛成多数で令和3年度一般会計当初予算が可決する。

この雪事業は、林市長就任し2年目の12月議会に、雪を利用して市をPRしたいとの補正予算700万円全会一致で可決。翌年(平成30年)の3月議会当初予算に雪活用事業1500万円を500万円に減額という修正動議が市民クラブから提出され否決された。以上の経過がある。

「雪」を新エネルギーとして活用しようという事業になぜ反対するのかわからない。

議会最終日、冒頭 市長より悲しい報告がある。

「昨夜、八海山女人堂近くで、消防署員6名が山岳野営訓練中1名が不明となり、今朝発見されるが亡くなった……」

あってはならない事故に議場は静まり返り、若い職員のご冥福を祈る。合掌



## ★ 新ごみ処理施設整備事業の方針を変更～2施設を整備

3月8日定例議会（一般質問）を中断（休憩）し、三議会（魚沼市、湯沢町）同時刻に議会全委員協議会を開く。

- ① 平成25年2月、二市一町でごみ処理広域化作業部会設置。
- ② 平成27年11月～28年4月、建設場所一般公募するが不成立（3地域）
- ③ 平成29年12月、二市一町の首長により、建設予定地として国際大学構内が候補にあがる。
- ④ 平成30年～令和元年、市長を先頭に関係集落一巡二巡と説明会を行う。
- ⑤ 令和2年2月20日、議会全員協議会を開催。  
近隣集落から同意が得られず断念する。
- ⑥ 令和3年3月3日、魚沼市長、湯沢町長、南魚沼市長が協議。魚沼市に1施設、南魚沼市に1施設を整備することに決定。

多くの意見や責任問題まで出るが、方針の変更はしかたない。島新田のごみ処理施設は老朽化が進み、施設の延命費用は数十億円にもおよび、これ以上の遅れは許されない。一日でも早い新ごみ処理施設の建設を実現しなければならない。

### 主な活動日誌

(1月～4月)



1.24 日本会議新潟県県市町村議員連盟設立総会



2.2 大和中学2年生裸押合大祭授業



2.7 自由民主党大和支部定期大会第52回定期大会



3.12 十二講まつり



3.13 就労支援B型事業所「あめのちはれ」見学



3.23 浦佐都市計画見直し説明会



3.27 前安倍総理講演会（政経文化セミナー）



4.6 国際情報高校入学式



4.20 浦佐地域づくり協議会幹事会

## ★ 憲法改正講演会（1月24日）

参議院議員青山繁晴氏の講演はリモートで行われたが「目から鱗」だった……。会場は長岡リリックホール。

国の目的は「国民」を守ることだが、国民を守る憲法になっていない。北朝鮮の拉致が発生し、解決しないのは、憲法第9条があるからと話す。

9条の1項は「武力の行使はダメ」「武力で威嚇もダメ」

2項は「陸空海軍、その他の戦力は持っていけない」

北朝鮮は日本国憲法を熟知し、「日本人を拉致」しても、9条があるから何もできないことを知っている。日本はまさに現在そうなっている。

聖徳太子が17条の憲法を作る。これを柱に明治憲法ができた。17条の明治憲法は「和をもって尊しと成す」を基本に作った。

～民のためにいろいろの意見があり、一致点を見出すという憲法。

現在の日本国憲法は西洋型の憲法。西洋の憲法は、王様（独裁的）を抑制するために貴族が創った。日本は古代から独裁者はいない。民の一致点を探すのが日本国憲法だ。明治憲法17条を元に成文憲法を作ることが国民の命と平和を守る・・・と話す。大変勉強になった。憲法の学習をしなくてはと思った。



## ★ コロナ禍の裸押合大祭（3月6日）



大祭のメイン行事「ささらすり」  
青年団員が歌に合わせて、足を床に打ち鳴らし堂内を回る。  
今年の豊作と疫病退散を願う。

昨年に続き、堂内での押合い、境内での餅撒きは中止。毘沙門天参拝、福もち配与、大名・稚児行列、青年団・講中水行、ささらすりと行事を実施する。

青年団員、大祭関係者全員が抗原検査を行う。検温、手消毒、マスクが無いと毘沙門堂・境内への入場はできない。できる限りのコロナ感染対策を行った。



林市長、小澤議長毘沙門天参拝と青年団員への激励にくる。

このコロナ禍、行政からご指導いただきながら、講中をはじめ多くの企業、団体の皆さまのご協力・ご支援で開催できましたことに感謝申し上げます。

また、露店の出店が無い中、地元の飲食店組合の皆さまから出店いただき参拝者から大変喜ばれました。



大祭翌日、やりとげた最高の顔で、前最高幹部の「もち撒き」と「水行」に大きな拍手。このコロナ禍1年間ご苦労様でした。

## 編集後記

・ワクチン接種日の変更通知が届く。その理由や今後の予定が分かりやすく記されており、不安や心配は軽減される。  
・桜が散り、西瓜の定植、田植えと春耕がはじまる。スピードは控ええ・交通安全！  
・5区の衆議院選挙、泉田・米山・森の三つ巴の戦いがはじまった。